

令和4年常陸太田市原子力災害広域 避難訓練における情報伝達調査結果

調査概要

本調査は令和4年度常陸太田市原子力災害広域避難訓練において、世矢地区、幸久地区、西小沢地区をはじめとする市内全域に対して行った各種情報伝達の状況について調査したものである。

調査は以下の手法で行った。

1 訓練チラシによる調査

情報伝達の結果を記入する用紙(訓練チラシ)3000枚を作成し、訓練に先立って世矢地区、幸久地区、西小沢地区の各世帯に配布した。

訓練後、各地区から回収し、626枚の回答を得た。

2 WEBによる調査

情報伝達の結果を記入するWEBページを制作し、訓練に先立って市ホームページで公開し、参加を希望する全ての市民が回答できるよう準備した。

訓練後、WEBページを集計し、6件の回答を得た。

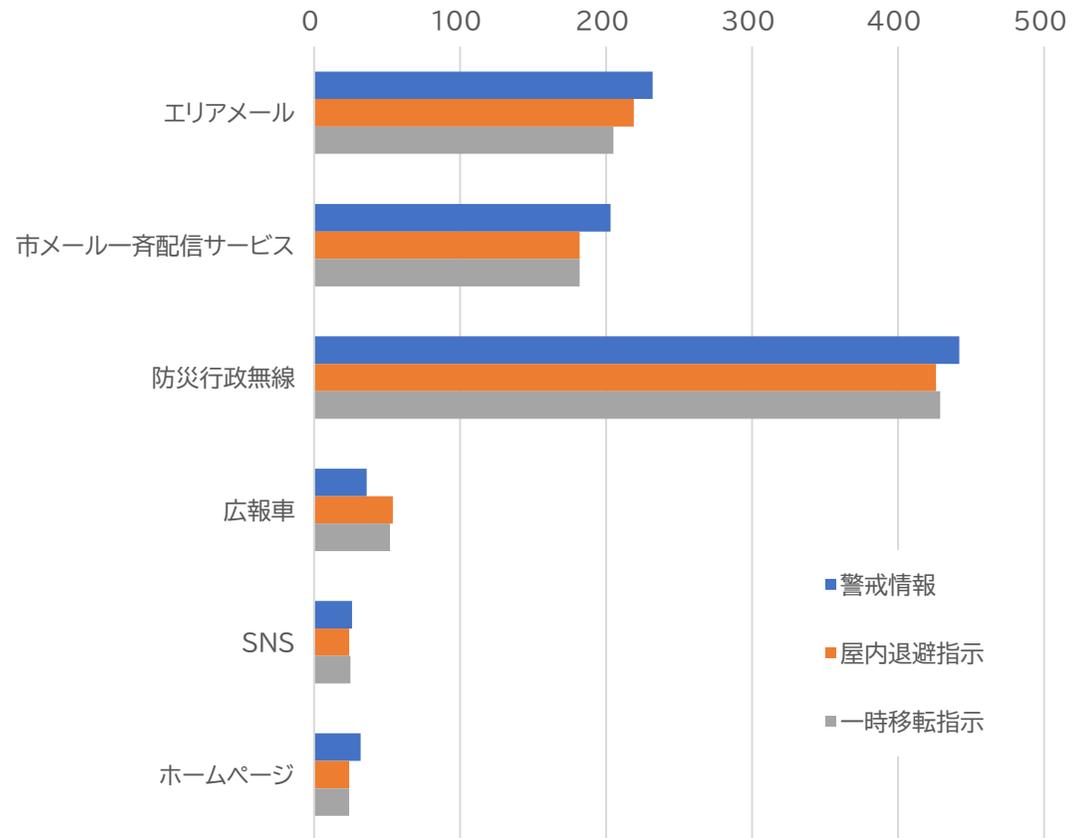
情報伝達調査結果

1 確認できた情報伝達手段

本訓練では、警戒情報、屋内退避指示、一時移転指示の計3回の情報伝達をおこなった。

確認できた情報伝達手段では防災行政無線が最も多く、次いでエリアメール、市メール一斉配信サービスであった。一方、広報車、SNS、市ホームページによる情報入手は少なかった。

	警戒情報	屋内退避指示	一時移転指示	計
エリアメール	232	219	205	656
市メール一斉配信サービス	203	182	182	566
防災行政無線	442	426	429	1297
広報車	36	54	52	142
SNS	26	24	25	75
ホームページ	32	24	24	80

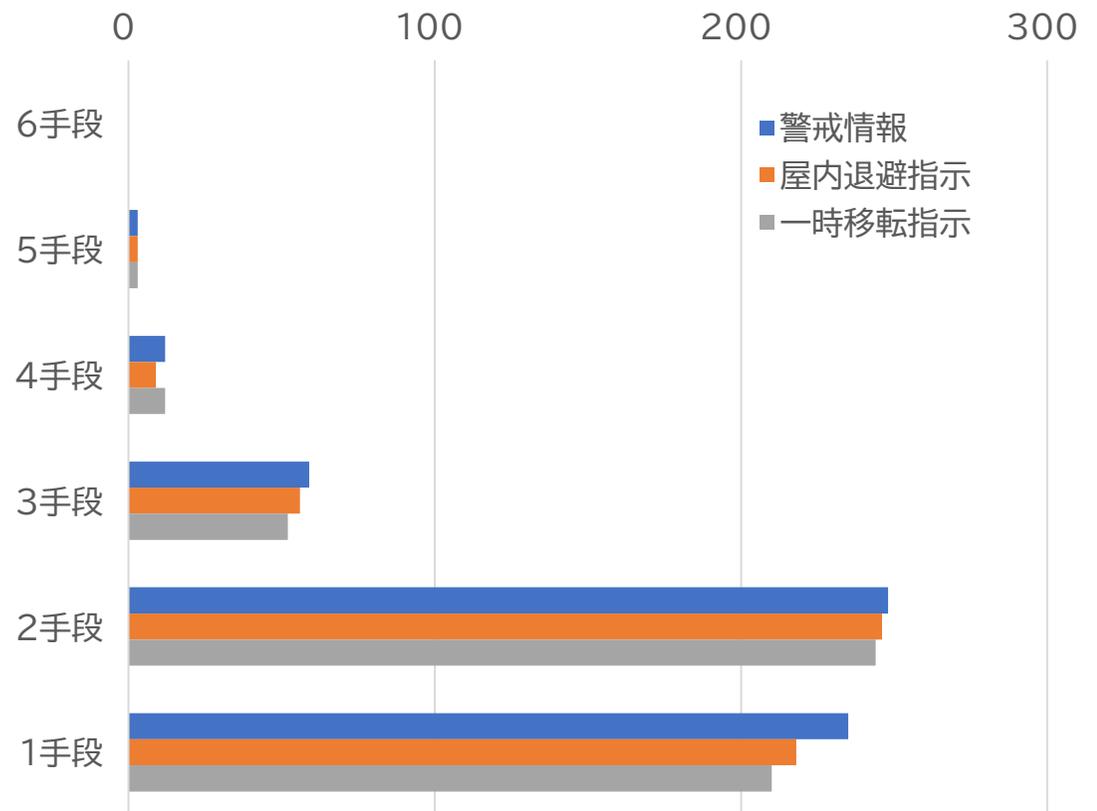


情報伝達調査結果

2 複数手段での情報入手

エリアメール、市メール一斉配信サービス、防災行政無線、広報車、SNS及び市ホームページを用いて広報を行った。
2種類以上の手段で情報を入手できたのは回答者の約58～60%であった。

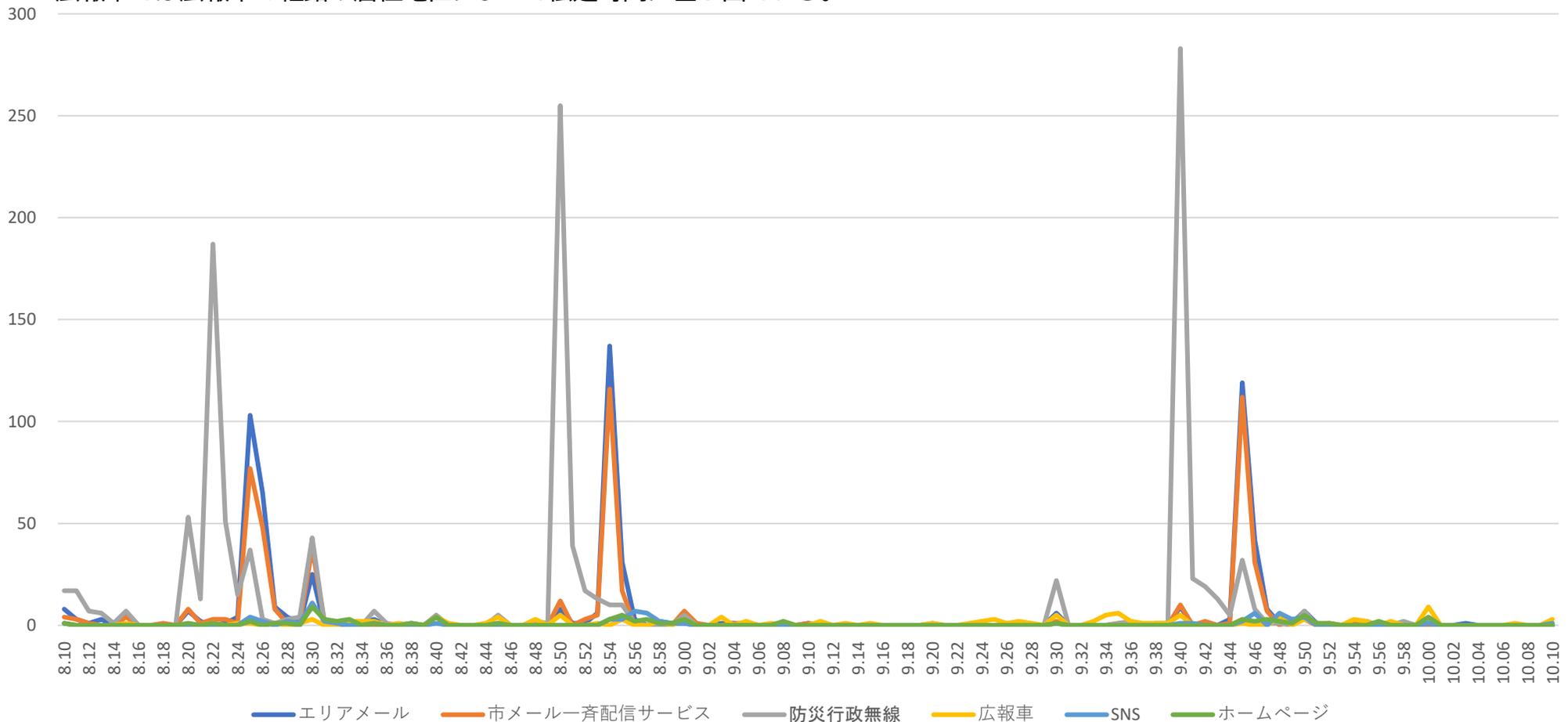
	警戒情報	屋内退避指示	一時移転指示
6手段	0	0	0
5手段	3	3	3
4手段	12	9	12
3手段	59	56	52
2手段	248	246	244
1手段	235	218	210
無回答	75	100	111
複数手段	57.8%	59.0%	59.7%



情報伝達調査結果

3-1 情報伝達状況(全般)

警戒情報、屋内退避指示、一時移転指示を行ったが、防災行政無線による伝達が最も早く伝達できていた。エリアメールおよび市メール一斉配信サービスでは防災行政無線から5分程度遅れて伝達できていた。広報車では広報車の経路や居住地区によって伝達時間に差が出ている。

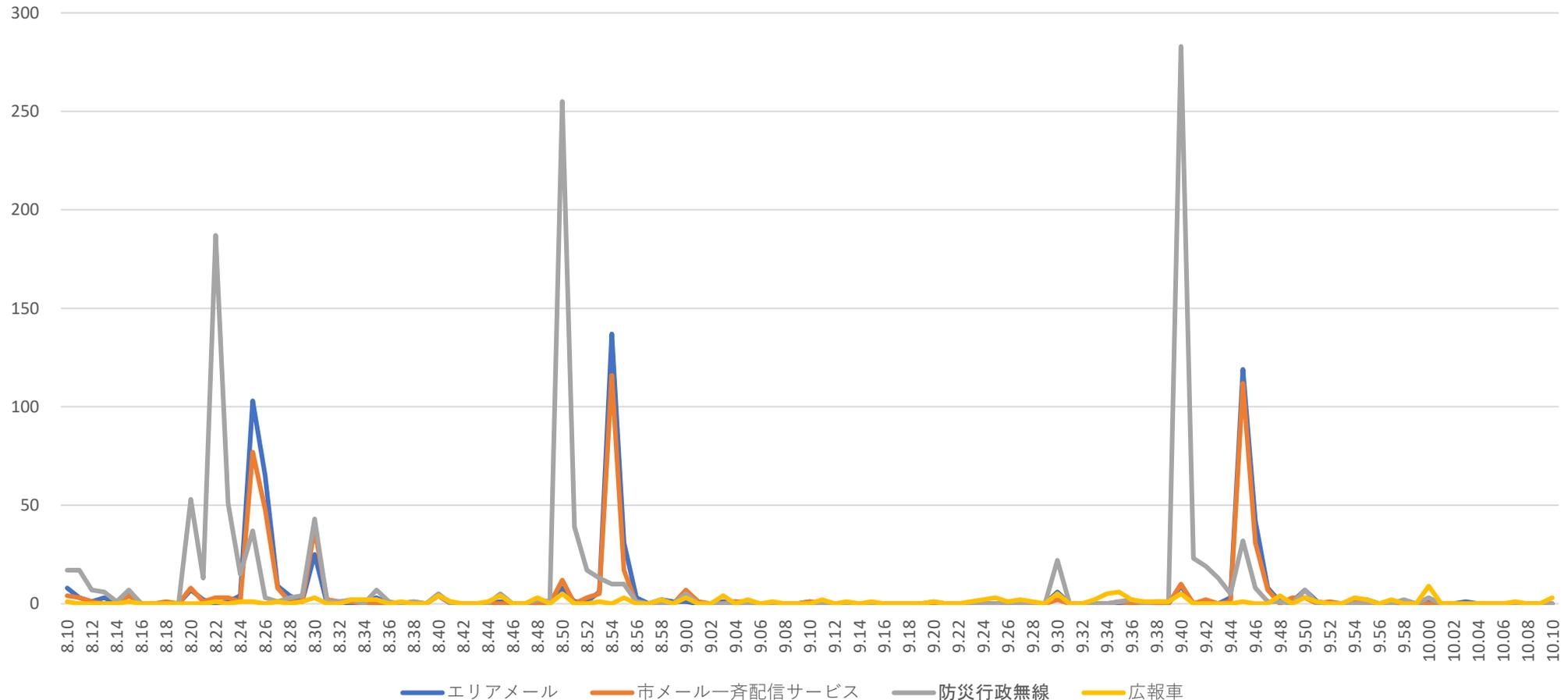


情報伝達調査結果

3-2 情報伝達状況(PUSH型)

自ら動かずとも入手できる情報伝達手段、いわゆるPUSH型の情報伝達(エリアメール、市メール一斉配信サービス、防災行政無線、広報車など)が機能しており、多くの市民に情報提供を行うことができた。

一方、訓練チラシ(調査用紙)への欄外には、エリアメールと市メール一斉配信サービスとの違いがわからない、防災行政無線や広報車は何をしゃべっているのか聞き取れなかったとの記述が散見された。



情報伝達調査結果

3-2 情報伝達状況(PULL型)

自ら積極的に収集する情報伝達手段、いわゆるPULL型の情報伝達(SNS、市ホームページ)はPUSH型と比較して低調であった。自ら情報収集をした方は、防災行政無線やエリアメール等で状況を認知し、その後にSNSや市ホームページでの情報収集を行っていることがわかる。

